

国際交流クラブ 6 月例会（第 1 回）の実施報告



6 月 13 日(木)午後 6 時半から当財団主催の国際交流クラブ第 1 回交流会を実施しました。今回は、「茶道に学ぶ日本の心」と題して、当財団の茶道教室で留学生にご指導いただいている志村宗恭先生(敬水文化教育主宰、裏千家茶道教授、NPO 法人「博多の歴史と文化の寺社町ネット」副理事長)をお招きして、日本文化の総合芸術である茶道についてわかりやすくお話いただきました。志村先生は、12 世紀に中国から伝わったとされる茶道の歴史から紐解かれ、日本人でもよく理解していないことが多い「侘び寂び」、「一期一会」、「和敬清寂」といった茶道の精神を実演も交えながら、外国人留学生にもわかりやすくご説明されました。また、今回の講演をきっかけに茶道に興味をいだいた留学生のために当財団の茶道教室についてのガイダンスもされました。参加した 30 名近い留学生、一般の方々は志村先生のお茶をいただきながら茶道の奥深さとすばらしさに改めて感動していました。志村先生の講演の後国際交流クラブの交流会を開催し、各大学の留学生同士の交流とともに日本人参加者との交流もテーブルのあちらこちらで賑やかに行われました。

以下

以下の写真はその例会の様子です。



茶道の心を解説する志村先生



志村先生を囲んでの集合写真



志村先生の説明に聞き入る参加者



志村先生のお茶を嗜む留学生達